

2026セントラルジャパン・ホルスタインショウが開催されました

2026セントラルジャパンホルスタインショウ（セントラルジャパンホルスタイン改良協議会主催）が4月17日、18日に静岡県御殿場市馬術・スポーツセンターで開催されました。

各都府県の共進会で上位に選出された乳牛が出品され、月齢等に応じて区分されたクラスごとに審査が行われました。15都府県から未經産クラス66頭、経産牛クラス83頭、高能力クラス4頭、ジャージー牛8頭（未經産3頭、経産5頭）計161頭の出品があり、体型と資質に優れた乳牛が審査場に集まる様子は圧巻でした。会場には多くの関係者、見学者が応援に駆け付け、チャンピオンが決まる度に盛大な拍手が送られていました。

本県からは、3月17日に行われた第54回神奈川県ブラック&ホワイトショーにおいて上位入賞を果たした18頭が出品され、第7部チャンピオン（藤沢市 長谷川勇輔氏 出品）の受賞をはじめ、第2部リザーブチャンピオン、第3部リザーブチャンピオンを受賞するなど、多くの出品牛が上位入賞を果たしました。日ごろからの努力の積み重ねが実を結ぶ結果となり、厳しい酪農情勢の中で明るいニュースとなりました。

また、未經産2頭と経産牛2頭を1組とする県対抗戦が行われ、群馬県に続き、神奈川県はリザーブチャンピオンを受賞しました。また、学生リードマンコンテストに県内からは農業高校生や酪農家のご子息など若手が出場しており、首位を受賞するなど、今後の若手の活躍が期待される結果となりました。当所は、今後もこのような機会を活かし、後継者育成などの支援を続けていく所存です。

畜産技術センターは、今回出品された乳牛の体型や資質の評価を踏まえ、今後とも各農場の乳牛改良にむけた技術支援に努めていきます。



第7部 チャンピオン牛



第7部チャンピオン受賞 表彰式後の記念撮影